

強い信念と使命感で躍動

電子の専門商社たる気概

（坂本龍馬）は「世の人はわれを何とも云はばいえず、いつの時代も自分の仕わがなすことはわれのみぞ知る」と言っ、自らの信じる道をひとすじに駆けぬけた。龍馬の師、勝海舟もまた、「行蔵は我に存す。毀誉は他人の主張、我に与らず」（行いは自分が、批評は他

人がある）と喝破している。事に信念を持つ人は他人の評価を気にしない。自らの天命に真摯に取り組むものだ。ゆえに厚い信頼を培う。

明光電子(株)（代表取締役・十川 正明氏）は、半導体、電子部品の統合商社として、積極果敢な営業戦略と独自のマーケティング力で、着実な伸展を続けてきている業界屈指の先覚派企業。電子の専門商社だが、商品を右から左へとただ動かすだけの凡百の商社ではない。技術者と一体になって、深いサポートを行い、一人ひとりの営業マンが電子の全ての分野においてプロとしての高い領域を目指している。その幅広い知識と先を読む鋭い洞察力こそが、世界のトップクラスである日本の電子技術者たちにパートナーとして頼りにされる要因と言えよう。頼りにされるからこそ、より研鑽に励み、さらなる信用を培うという循環が同社の勢いに弾みをつけたのも事実だ。まさに「わがなすことはわれのみぞ知る」という強い信念と使命感が、社員のやる気とやりがいをかき立てている。またLED照明や風力発電、電気自動車、高速鉄道、太陽光発電…等、新規ビジネスの展開も取引先からのリクエストであり地盤も強い。